

令和5年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	志摩市浜島ふるさと公園	所在地	志摩市浜島町檜山路553-1
指定管理者名	特定非営利活動法人浜島スポーツクラブ	指定期間	令和5年4月1日から令和8年3月31日
設置目的	スポーツを通じて住民の体力向上及び心身の健全な発達を図り、もって住みよい地域社会を形成することを目的として設置する。		
業務内容	(1) ふるさと公園の利用の許可に関する業務 (2) ふるさと公園の利用に係る料金の徴収に関する業務 (3) ふるさと公園の施設及び設備の維持管理に関する業務 (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会がふるさと公園の管理上必要があると認める業務		
施設概要	平成8年3月21日竣工 多目的グラウンド（夜間照明なし）、テニスコート（オムニコート2面/夜間照明あり）、芝生広場（スチール遊具1基）、管理棟1棟、公衆トイレ3棟、駐車場（38台収容）		
職員体制	臨時職員3名		
施設所管課名	教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位：円)		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	比較(C-B)		
事業収支	収入	指定管理料	1,682,000	1,682,000	1,800,000	118,000	
		利用料金	214,000	248,500	245,500	-3,000	
		その他	52,959	50,261	45,970	-4,291	
		計(a)	1,948,959	1,980,761	2,091,470	110,709	
	支出	人件費		2,186,319	2,053,350	1,868,510	-184,840
			人件費	1,569,492	1,617,421	1,454,398	-163,023
			その他	616,827	435,929	414,112	-21,817
		管理費					
			人件費				
			その他				
			計(b)	2,186,319	2,053,350	1,868,510	-184,840
		収支差引額(a-b)		-237,360	-72,589	222,960	295,549

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	【支出の部】 ■人件費（賃金・共済費・手当） 令和4年度比 約160,000円減 ・臨時職員1名が12月末付けで依願退職したため
----------------------------------	--

3 総合評価

指定管理者	市
施設内の植栽や芝生管理、清掃については十分な管理がなされ、令和5年度も利用者や近隣住民から好評いただきました。 施設利用については、グラウンド28団体462人、テニスコート173団体1,223人と、令和4年度に比べ大きな変動はなく、利用率としては低調に終わりました。利用率引き上げに対しては市内スポーツ団体の減少などにより難航している状況ですが、これほど景観良く安全で清潔が保たれている公園は市内でも少ないと自負しており、ぜひもっと多くの利用者に活用していただきたいと考えます。引き続き自主事業による活用や合宿誘致に努めます。 設備面ではテニスコートに経年劣化による一部剥離があるため、利用者の安全確保の観点からも市当局には早急な対応を望みます。	職員間での連携を密にされており、日頃の施設の維持管理も問題なく、利用者や近隣住民からも好評を得ているということで、指定管理者の努力の結果が出ていると評価できる。 多目的グラウンドの利用者数が伸び悩んでいるため、施設の活用方法について、指定管理者と協議しながら、利用者集客増加への対策を検討して取り組んでいただきたい。

指定管理業務項目別評価表						
評価項目			評価			
			指定管理者		市	
業務運営項目		評価内容	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の目的や基本方針を十分に理解して管理を実施した。	A	施設の目的や基本方針については、日々の業務にも理解の程が見受けられた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通じて、施設の設置目的は達成されたか。	A	施設の設置目的である、住民のスポーツを通じての体力向上及び心身の健全な発達に資することができた。	A	施設の利用者数・運営状況から施設の設置目的は達成できている。
	③運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	施設の供用日数・供用時間は守られた。	A	事業計画に計画された運営が行われた。
	④職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であった。	A	職員の配置は適正に行われた。
	⑤意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	相談・連絡は電話・訪問等により密におこない、報告についても遅滞なくおこなった。	A	連絡が必要な際には随時連絡により遅滞なく、情報共有できた。
	⑥各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	点検記録等の整備保管は適正に行われた。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされていた。
	⑦使用許可等	使用許可等申請が適正に行われていたか。	A	協定書の定めるところにより適正に事務を行った。	A	協定書に定めるところにより適正に事務を行っていた。
	⑧利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行われていたか。	A	協定書の定めるところにより適正に徴収した。	A	協定書に定めるところにより適正に事務を行っていた。
	⑨個人情報	個人情報の取扱いが適正になされていたか。	A	個人情報取扱特記事項のとおり適正な取扱いであった。	A	個人情報取扱特記事項の内容をよく理解し、適正な取扱いがなされていた。
	⑩法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	運営に関連する地方自治法、スポーツ基本法を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

※各項目ごとの判定

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。
N	評価対象設備が存在しない等、評価することできない、もしくはなじまない項目である。

指定管理業務項目別評価表						
評価項目			評価			
			指定管理者		市	
業務運営項目		評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者増加への取り組み	利用者数の増加や利便性を高めるための具体的な取り組みが行われていたか。	A	常連客の夜間の鍵の返却については管理棟に専用の箱を設置し、返却の手間を省いた。また利用者からの要望や連絡には迅速に対応した。	A	利便性を向上させるための自主的な取り組みが多く見られ、利用者満足の向上が図られた。
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行ったか。	A	全職員が情報を共有できるよう『職員用回覧板』にて申し送りをし、サービス水準の確保に努めた。	A	サービスの質を落とすことのないよう日々改善に取り組んでおり、サービスの水準は、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	すべての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行ったか。	A	SNSや館内掲示を活用し、施設や教室のスケジュールやイベントの情報発信を図り、またSNSを利用しない層へは電話やメールで連絡をおこなうなど取りこぼしのない情報提供に努めた。	A	すべての利用者が情報を得れるよう工夫し、電話連絡やSNS等を活用して情報提供に努められた。
	④非常時・緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	津波・地震発生時の職員配置、傷病人発生時の対応マニュアルを整備し、全職員の共通理解を図った。また緊急時の体制や連絡網は目につくところに掲示している。	A	緊急時のマニュアルが整備されており、目につくところに掲示していることから適切に対応できている。
	⑤苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見・苦情は常に全職員が速やかに共有・対処できる体制を取り、迅速かつ適切に対応できた。	A	苦情の対応は、その状況に応じて利用者へ親身になって対応されていた。
	⑥自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が行われていたか。	A	スポーツ教室については有意義な活動を提供することができた。	A	利用者ニーズを的確に把握し、安全に自主事業を実施していた。
	⑦事業の評価	事業実施後に確認・見直しが行われ、次年度につなげる取り組みがなされたか。	A	事業実施後は職員間また指導員とも話し合う機会を設けて改善点の把握と共有を図り、次年度につなげていくよう努めた。	A	話し合いによりきちんと事業の評価がなされており、その結果を反映させた事業計画が策定できている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	A	建物、設備、植栽等については非常に行き届いた管理がなされ、利用者からも好評を得ている。	A	施設整備等について安全上の問題はなかった。
	②備品の管理	備品台帳に基づき、備品の管理・点検・保守は適切に行われていたか。	A	備品台帳を整備し、適切に備品を管理し、点検・保守に努めた。	A	備品台帳に基づいた適切な管理・点検・保守がなされ、備品等はきちんと整備されていた。
	③備品・設備等の整理整頓	備品・設備等がきちんと整理整頓され、利用者の妨げとなるような状態で放置されていないか。	A	倉庫等については定期的に機会を設け、整理・整頓・清掃している。	A	整理整頓が徹底されており、職員の意識も高かった。

※各項目ごとの判定

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。
N	評価対象設備が存在しない等、評価することできない、もしくはなじまない項目である。

指定管理業務項目別評価表					
評価項目			評価		
			指定管理者		市
業務運営項目	評価の基準		判定	評価理由	判定 評価理由
施設・設備等の維持管理	④修繕業務	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録させたか。	A	1件30万円未満の修繕は速やかに実施した。内容の記録についても適切に行った。	A 異常が認められた際は速やかに適正な処置が講じられており、内容の記録についても問題なく行われていた。
	⑤清掃業務	清掃が適切に行われ、施設・備品・器具等が清潔な状態に保たれていたか。	A	施設の清掃・芝刈り等については担当の臨時職員3名が常時実施しており、夏期等、必要があれば海洋センター配置の職員も作業をおこない、常に清潔な状態を保つよう努めた。	A 清掃が行き届いており、清潔な状態が保たれていた。
	⑥防犯体制	鍵の管理及び防犯に対する対策・対応は適切だったか。	A	鍵の管理は適切に行った。防犯対策については配置の臨時職員より不審情報等、密に連絡・報告を受け、対処した。	A 鍵はきちんと管理されており、防犯面でも適切な対応がなされていた。
健全な財務・適切な会計処理	①会計処理は適正になされているか	会計帳簿の整備、伝票や領収書等の書類の整備・保管、現金の取扱いが適切になされているか。	A	会計帳簿を備え、伝票等の会計関係書類も適切に保管している。普段の会計処理は事務員がおこない、毎月ごとに会計士に監査を委託している。決算についても同様に事務員が作成し、会計士が精査している。	A 帳簿類の整備、関係書類の保管は適正に行われている。会計処理も簿記の有資格者及び税理士が行っているため問題ない。
	②公租公課に滞納はないか	国税・地方税・社会保険料等の公的な債務について、履行遅滞となっていないか。	A	公租公課は納付期限までに適正に納付した。	A 期限内に納付されていることを領収書等で確認済み。
	③適正な収支状況にあるか	収支のバランスは適正か。債務超過に陥っていないか。	A	経営努力により経営は黒字であり、経営状態は安定している。	A 黒字となったが、指定管理料の増額や職員の退職による人件費の減額によるものかと思われる。今後利用料金の収入を増額できる方法などを指定管理者と協議していきたい。
所管課追加項目					

※各項目ごとの判定

判定	評価基準
A	協定書・仕様書・事業計画書に定める内容を忠実に履行、又は水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
B	概ね、協定書・仕様書・事業計画書に基づいて運営がなされているが、一部に改善の必要性が認められる。
C	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされておらず、早急な改善が必要である。
N	評価対象設備が存在しない等、評価することできない、もしくはなじまない項目である。

1. 利用者ニーズ把握のための実施事項（複数ある場合は、全て記入してください。）

①意見箱の設置

②普段から利用者とのコミュニケーションを図り、意見や要望を伝えやすい環境を作っている

2. 実施事項の結果概要（件数等具体的に記入してください。）

①0件

②0件

3. 利用者ニーズに対する対応可能性 ※アンケート結果の内容を全て具体的に記入してください。（対応可能なものか、可能であるとすればその時期等）

※凡例 A:既に対応済み・すぐに対応可能 B:翌年度に対応する C:今後、検討する D:対応不可 E:その他・分類不能

ニーズ・意見等	対応可能性	施設回答	所管課所見
特になし			

4. 今後の課題・改善点等

多目的グラウンドの利用者数が伸び悩んでいるため、施設の活用方法について、市と協議しながら、利用者集客増加への対策を検討して取り組んでいきたい。